

143 カヤクグリ

(スズメ目)

兵庫県ランク:A

Prunella rubida

繁殖個体群:A 越冬個体群:C 通過個体群:調

環境省ランク:指定なし

種の概要

日本固有種。北海道、本州北・中部では留鳥、本州南西部、四国、九州では冬鳥とされるが、高山では少数が繁殖する。兵庫県では、平地では主に11-翌4月に見られるが、一部の高い山地では6-7月の記録がある。冬は低山や山麓の夏緑広葉樹林や林縁の藪に生息する。繁殖期は昆虫類やクモ類を採食するが、秋から冬には草木の実を食べる。



写真提供: 松重和太

国内分布

北海道、南千島、本州北部、本州中・南西部、佐渡、舩倉島、隠岐、見島、四国、九州、伊豆諸島

県内分布 ()表記の市町では2002年以前に生息確認

神戸市、姫路市、明石市、西宮市、(芦屋市)、(伊丹市)、(豊岡市)、宝塚市、川西市、三田市、(加西市)、篠山市、養父市、丹波市、南あわじ市、(朝来市)、淡路市、(宍粟市)、加東市、(猪名川町)、(神河町)、(上郡町)、佐用町、(香美町) ※県内繁殖有



主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の希少性	
個体数激減	分布域激減	餌の可用性の低下	特殊競争圧	特殊捕食圧	特殊繁殖環境	特殊採餌環境	ねぐら休息環境・	局地的繁殖	希少

県内における生息状況およびその他特記事項

ランク変更なし。

多くは冬鳥としての観察されるが、氷ノ山山頂周辺では少数が繁殖する。最近は減少傾向が著しい。

保護上の留意点

極めて局地的な分布となっている繁殖地の保全および越冬場所の夏緑広葉樹林の保全が重要。また、毎年同じ場所に渡来する例が多いので、その場所の環境改変を極力少なくすることが重要。